

ふちゅう歴史散歩 Vol.64

両備軽便鉄道



開通当時の両備軽便鉄道府中駅(大正時代)



明治時代以降、日本政府は富国強兵と殖産興業を急速に推進して近代化を図る政策をとりました。欧米から新しい文化や技術を取り入れて、近代的な工場の設置、蒸気機関車が走る鉄道の開通、蒸気船の運航、郵便制度の開始、その他にも服装や髪型、食事にも新しい風潮が見られるようになりました。

山陽線の神戸～福山間での開通が、明治24年(1891)のことでした。明治28年(1895)に府中市村の延藤吉兵衛ほか74人によって、福山～府中間の鉄道敷設が最初に計画されました。神辺～駅家～新市を経由するこの両備軽便鉄道が完成し、営業が開始されたのは大正3年(1914)のことでした。

軽便鉄道とは、線路幅が762mm(軽便)で普通の鉄道の1,067mm(省線)に比べて車両も駅舎も小さくてかわいらしいものでした。昭和8年(1933)には国鉄に買収されて福塩南線となり、軽便から省線への拡幅工事が着工されます。昭和10年(1935)には現在の福塩線となる本庄廻り(福山市)の路線が完成し、府中町永井町にあった府中駅も現在の位置に移転しました。

—市民レポーターが府中の魅力を投稿します—

ふちゅう Sai 発見!

文化祭のテーマ

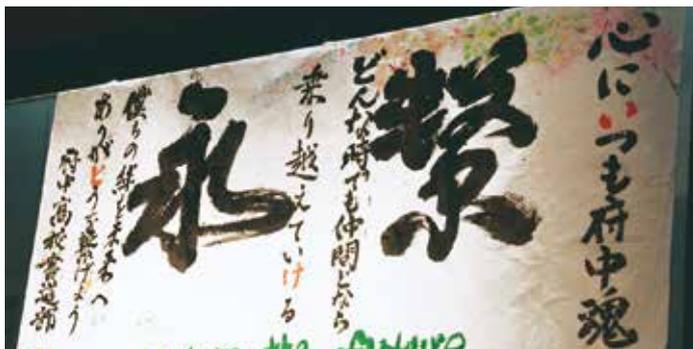
高校生編 その26

投稿者 (文と写真)



府中高校1年生

林 大登くん(左)
西川 潤くん(中央)
森川 結衣さん(右)



この写真は、非公開の日に行われた書道パフォーマンスで書道部が書いた『永繫(とけい)』という文化祭のテーマを撮ったものです。

府中高校の文化祭は毎年多くの人が来られる伝統ある行事です。

クラスイベントや壁画・オブジェや部の出し物など多くのイベントがあります。

その中には喫茶をやっているクラスもあり、おいしい食べ物を食べることができます。料理は当日食券を購入していただき、その食券と食べ物を交換すれば、食べれます。今年は壁画を2クラス、オブジェを7クラス展示しました。

平成28年8月1日(1215)号

広報ふちゅう

(毎月1・15日発行)



ご意見、ご感想をお寄せください。

編集発行：府中市人事秘書課

〒726-8601 広島県府中市府川町315

☎0847-43-7111 (代表)

☎0847-43-7194 (広報担当)

HP <http://www.city.fuchu.hiroshima.jp/>

HP 《携帯版》 <http://city-fuchu-m.plimo.jp/>

※右のQRコードからアドレスを読み取ることができます。

